

2 ご使用になるときは

1 お使いになる30分～1時間前に予熱をする

コンセントに電源プラグを差し込み、温度調節つまみを「強」にあわせる。
※「強」目盛は予熱用です。

2 お使いになるときに温度を調節する

温度調節つまみをお好みの位置まで下げる。
※「強」にしたまま使用すると低温やけどを起こす恐れがあります。
※使用中、コントローラーが暖かくなりますが、故障ではありません。
※室温が高いときは、「弱」付近では温まりにくいことがあります但故障ではありません。

ご使用時の温度について

ご使用時の温度は、一般に快適な寝床内温度とされている体温より少し低めに設定することをおすすめします。この温度は、暖かさを感じませんが、安眠するのに適しています。温度調節目盛の中央よりやや下付近が目安です。

※高い温度で使用すると、低温やけどを起こす恐れがあります。使用中は、低めの温度「適温」～「弱」、または「切」にしてご使用ください。
※寝汗をかいたり、のどがかわいたりするのは、温度が高すぎるためです。設定温度を下げてください。
※設定温度と感じる暖かさは、室温などの使用環境、体質などの個人差などによって異なります。ぬるく感じるときは保温をよくしてください。

指針

温度を低くする

安全のため、お守りください

- コントローラーは、必ず布団の外に出す
- コントローラーを他の暖房器具から離す
故障や温度調節機能が正しく働かない原因になります。
- コントローラーをぬらしたり、高い所から落としたり、踏みつけたりしない
- コントローラーは、絶対にネジをはずしたり、分解しない
感電、ショート、発火の原因になります。
- 1日1回本体を広げ直し、しわをよく伸ばす
寝返りなどで本体にしわがよるとヒーター線が重なったり、よじれ、局部的に異常過熱し、故障や低温やけどの原因になります。

しわをよく伸ばす

こんなときは点検・修理を

- ヒーター線の重なり、よじれなどがあるとき
- コントローラーをぬらしたとき
- コントローラーに強い衝撃を加えたとき

低温やけどや火災・感電・故障の原因

ただちに使用をやめ、販売店にご相談ください

落とす、ぶつける

液体をこぼす

ヒーター線が重なる

ヒーター線がよじれている

3

お手入れのしかた

マット本体は洗たくができます。下記のとおり洗たくしてください

※コントローラーを本体からはずしてください。コントローラーは洗たくできません。
コントローラーの汚れは、うすめた台所用中性洗剤を布にふくませ、拭きとってください。
※洗たく機をご使用の場合は、毛布洗い可能な縦型洗たく機をご使用ください。
※ドラム式洗たく機では、洗たくはできません。ヒーター線を傷める恐れがあります。

40℃以下で手洗い

アイロンがけ禁止

漂白剤の使用禁止

ドライクリーニング禁止

タンブル乾燥の禁止

日陰の陰干しがよい

準備

手洗いの場合

- 1 本体からコネクターを抜く
コネクター
- 2 40℃以下のぬるま湯を入れ、洗たく用の中性洗剤(少なめ)を溶かす(入浴剤の入った湯は使わない)
- 3 図のようにたたむ
よこ3つ折り たて4つ折り
- 4 押し洗いをする(たたき洗いは、絶対にしない)
●コネクター受けは、ていねいに取り扱う。
●汚れがひどい場合は、2度洗います。
- 5 洗剤が残らないようにすすぐ
- 6 静電気防止のために柔軟仕上げ剤を使う
- 7 コネクター受けは、再度きれいな水で洗う
- 8 浴槽のふちなどに掛けて水切りをする
●本体をしぼって脱水しない。

洗たく機使用の場合

- 1 本体からコネクターを抜く
コネクター
- 2 40℃以下のぬるま湯を入れ、洗たく用の中性洗剤(少なめ)を溶かす(入浴剤の入った湯は使わない)
- 3 コネクター受けを本体の内側になるように折りたたみ、毛布洗いネットに入れる
- 4 ウール洗い、または手洗いコースで洗たくする
●洗たくネットのファスナーを確実にしめる。
●他の洗たく物といっしょに洗わない。
●ウール洗いコース、手洗いコースがない場合は、手洗する。
- 5 洗剤が残らないようにすすぐ
- 6 静電気防止のために柔軟仕上げ剤を使う
- 7 コネクター受けは、再度きれいな水で洗う
- 8 脱水は、30～60秒程度にする
脱水後は、洗たくネットから本体を取り出す

乾燥

9 風通しの良い日陰に干し、自然乾燥させる
●乾燥機は、絶対に使用しない。
●通電しながら乾燥させない。
●コネクター受けは、十分に乾燥させる。
●乾いたらすぐに取り入れる。

物干し竿など

確認

10 本体内のヒーター線の重なりやよじれがないか、本体を広げて手でさわり確認する
●ヒーター線の重なり、よじれなどがあるとき
●コントローラーをぬらしたとき

ただちに使用をやめ、販売店にご相談ください

ヒーター線が重なる ヒーター線がよじれている

3 ご使用後は

1 「切」にして電源プラグを抜く

※事故防止のため、外出時や使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 収納する

本体を軽くたたみ、布団などの一番上におく。

長い間保管するときは

- 収納前によく乾燥させる
- 本体を折りたたみ、購入時の箱などに収納し、湿気の少ない所に保管する
- ナフタリンやしょうのうなどの防虫剤は使用しない
本体やコントローラーを傷め、故障や火災の原因になります。
- シーズン終了後は、洗たくをおすすめします

コントローラーや取扱説明書は、一番上に置く

●ダニ対策のしかた

1 コントローラーを本体と接続する

2 本体を折りたたみ、ポリ袋(家庭用ゴミ袋など)に入れる

①よこ3つ折にする

②たて4つ折にする

③ポリ袋へ入れる

コントローラーは、ポリ袋の外へ出す

3 敷布団の上に本体をおき、掛布団をかける

コントローラーは、布団の外へ出す

4 温度調節目盛「強」で3～4時間通電する

5 ポリ袋から本体を取り出し、本体のおもて面、うら面に掃除機をかける
反対側の面に折りたたみ、再度3～4時間通電するとより効果的です。

その他のダニ対策

- 布団や毛布は、ダニ繁殖防止のため、自然乾燥させたり、掃除機をかける
- 本体は、フケやホコリなど取り除くため、シーズン初めや終わりに洗たくする

4

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをもう一度お調べください

症状	お確かめください
電源ランプが点灯しない 暖かにならない	電源プラグやコネクターが確実に差し込まれていますか? ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか? 温度調節つまみの目盛が「低すぎませんか?」
ぬるく感じる	ご使用時に通電を開始しても、すぐに暖まりません。ご使用前に予熱をしてください。(P3参照) 購入後すぐやシーズン初め、洗たくしたときは、本体に湿気がこもり、ぬるく感じることがあります。数回のご使用で湿気がとれ、温度が上がります。
コントローラーが暖かくなる ペースメーカーを使用していますが、使えますか?	通電中は暖かくなります。故障ではありません。
本体をさわるとビリビリする	医療用電気機器をご使用されている方は、医師に相談してください。 冬場は乾燥しているため静電気が発生しやすくなっています。洗たくのときに柔軟剤を使用すると、静電気の発生が低減されます。(P5参照)

アフターサービス

●保証期間
お買いあげの日から1年間です。

●保証期間中
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてお買いあげの販売店へお持ち込みのうえ、修理を依頼してください。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間が過ぎているときは
お買いあげの販売店にご相談ください。修理すれば使用できると診断した場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。本体の修理は、防水性や安全確保のため、交換修理となります。

●修理料金のしくみ
修理料金は、診断・修理・調整・点検などの技術料と部品代、送料などで構成されています。

●補修用性能部品の保有期間
本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●ご不明な点、修理に関する相談は
お買いあげの販売店にご相談ください。転居や贈答品などでお困りの場合は、保証書面に記載されている連絡先へご連絡ください。

●ご自分での修理はおやめください
分解や改造は大変危険です。お買いあげの販売店へ修理を依頼してください。弊社は、ご自分で修理するための部品販売はいたしません。

点検・整備について

●シーズン初めの点検を
次のことを点検し、異常の場合は、お買いあげの販売店に修理を依頼してください。
・コントローラーの損傷 ・プラグ、コード、コネクターの損傷
・本体の損傷、しわ、折ぐせ ・ヒーター線のよじれ、重なり、露出、硬化

●定期点検を
ご使用開始から3年を目安にお買いあげの販売店に点検を受けていただくことをおすすめします。

長年ご使用の電気暖房器の点検を!

愛情点検

このような症状はありませんか
●電源を入れても、動かないときがある。
●コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●運転中に異常な音や振動がする。
●プラグ、コード、本体、コントローラーなどが異常に熱い。
●こげくさい臭いがする。
●ヒーター線の重なり、ループ状、折りぐせが生じている。
●その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。